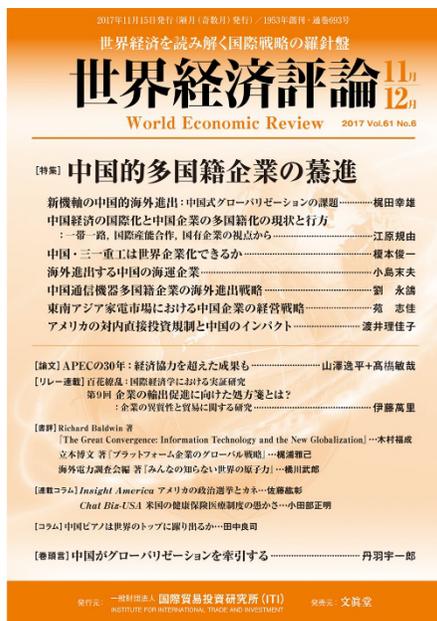


本論文は

# 世界経済評論 2017年11/12月号

(2017年11月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

## 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF



定期購読  
期間中

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

### デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp  
雑誌のオンライン販売

## プラットフォーム企業の グローバル戦略

——オープン標準の戦略的活用とビジネス・  
エコシステム

愛知学院大学教授 梶浦 雅己



[著者]

立本博文 (たつもと・ひろふみ)

筑波大学大学院ビジネス研究学科教授

[発行] 有斐閣, 2017年3月

[判型] A5判・ヨコ組, 414ページ

[定価] 本体5400円+税

本書は、ICT産業の環境において、オープン化やグローバル化に伴い競争優位がどのように変化するのかを解明する「新たな戦略」の学術書である。著者は、オープン標準化に伴い技術情報を複数企業が共有し、かつ先進国企業と新興国企業が特定産業でビジネス・エコシステム環境が形成されると、ネットワーク効果が発生しやすいとする。そうした環境下ではプラットフォーム戦略が有効となることが多い。この戦略は企業が製品のサービスや種類を提供するのではなく、やりかたの提供を意味している。こうした着想に基づき本書はプラットフォーム戦略をとる企業の行動と成功条件を明らかにしよ

うとする。対象産業は、携帯電話、半導体製造装置、PC、車載エレクトロニクスなどである。本書は9章および補遺から成るが、特に4章の半導体製造装置産業企業の戦略分析が注目される。パネルデータ分析などによって、「ハブへのポジショニング」「オープン標準対応製品の販売」「新興国市場への販売」の関係と動態プロセスを解明する定量的実証分析は重厚かつ明快である。

プラットフォーム戦略を成功させたアプライドマテリアル社の軌跡は、取引ネットワーク図と取引コミュニティ系統推移によって明らかにされている。製造装置取引データと販売額から作成したパネルデータ分析は、少なくとも我が国の国際経営研究としては稀有であり新奇である。パネルデータ分析については有用性および可能性が指摘されて久しいが、多国籍企業戦略分析に採用した研究は画期的である。

全体を通して、リサーチデザインに統計分析に先立ち予備調査としてインタビュー(20社)を組み込み、論旨展開が丁寧かつ精緻である。評者は当該分析の専門家ではないが、回帰モデル2種(線形加法モデル、交互作用モデル)、とネットワーク分析を併用し手堅い。総合して、競争戦略論、プラットフォーム、オープン標準、ビジネス・エコシステム、アーキテクチャ研究に貢献する内容である。

ただし課題も残されている。著者はマイクロ事例研究の限界を述べ、定量研究の重要性を強調する。確かにその通りだが、本書も特定産業の特定分野の特定時期における動態分析に留まる。オープン化やグローバル化は全産業にみられ、有効なのか。そうでない産業とのプロセス比較を示せば一層説得力を増すであろう。

本書の一読を学術研究者や調査者へお勧めしたい。なお今年第8回多国籍企業学会賞(入江猪太郎賞)を受賞したことを付記する。

(かじうら まさみ)